

【irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書へのパブリックコメントのお願い】

謹啓 先生におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、皆様のご協力により鋭意準備を進めて参りました「irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書」が完成致しました。本手引書を有意義で、使いやすいものにするために、作成に関わっている者だけでなく、多くの先生から幅広くご意見を伺った上で完成させる必要がございます。お忙しい中恐縮ではございますが「irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書」を御精読の上、下記要領で回答用紙にご意見を下さいますようお願い致します。

なお、ご記入後の返信はメールでお願いいたします。また、コメントに対する個別の回答は予定しておりません。この手引書草案は作成過程のものであり、「公表された著作物」には該当しません。転載・引用はご遠慮ください。

記

1. PDF ファイルをダウンロード

I 頁目：本頁

II 頁目：「はじめにお読みください（回答手順）」

III～VII 頁目：「回答用紙」

VIII 頁目以降：「irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書・解説書」 ※以降、別途ページ番号付番

2. 手引書草案を読み、ご意見などを回答用紙にご記入の上、【回答先】にメール添付で送信

【回答募集期間】2021年11月29日～2022年5月30日

【回答先】自治医科大学附属さいたま医療センター

Email：ssuzuki@jichi.ac.jp)

標題に【SSOP irAE 手引書・解説書・パプコメの件】と記載をお願い致します。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

SSOP（埼玉県がん薬物療法研究会）

irAE 手引書作成ワーキンググループ Team K(i)NGS

irAE 手引書作成ワーキンググループ手引書作成 WG長

鈴木 栄

アンケートにご回答いただく手順

1. 『irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書・解説書.pdf』（PDF 形式）をご精読ください。
2. お手数かけますが、アンケートにご協力をお願い致します。

『アンケート回答用紙.docx』（Word 形式）をご記入ください。

3. 回答を Email で以下の宛先までお送りください。（締切：2022 年 5 月 31 日）

【回答先】

自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部

Email：ssuzuki@jichi.ac.jp

【SSOP irAE 手引書・解説書・パブコメの件】と記載をお願い致します。

※本アンケートに関するご質問は以下までお願いいたします。

<回答用紙>

【irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書・解説書 パブリックコメント宛先】

■SSOP（埼玉がん薬物療法研究会）

■irAE 手引書作成ワーキンググループ手引書作成 WG 長

自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 鈴木 栄

irAE（免疫関連有害事象）対策～手引書・解説書

アンケート回答用紙

お名前 _____

ご年齢 30代 40代 50代 60代 70代以上

ご所属 _____

1. 医師 2. 薬剤師 3. 看護師 4. その他の医療従事者

I. 手引書全般について

1. 主訴から想定する疾患の表 評価

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 記載されている「主訴」の項目が適切である
- ③ 記載されている「想定される疾患」の項目が適切である。
- ④ 「主訴」と「想定される疾患」の項目が適切である。
- ⑤ 実臨床で役立つ資料

*上記の項目において不足しているとお考えの項目 (Question) がございましたらご指摘下さい
【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

2. 一般検査から想定する疾患の表 評価

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 記載されている「主訴」の項目が適切である
- ③ 記載されている「想定される疾患」の項目が適切である。
- ④ 「主訴」と「想定される疾患」の項目が適切である。
- ⑤ 実臨床で役立つ資料

*上記の項目において不足しているとお考えの項目 (Question) がございましたらご指摘下さい
【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

3. 専門医へ引き継ぐまでの間に実施を考慮する追加検査の表 評価

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 記載されている「主訴」の項目が適切である
- ③ 記載されている「想定される疾患」の項目が適切である。
- ④ 「主訴」と「想定される疾患」の項目が適切である。
- ⑤ 実臨床で役立つ資料

*上記の項目において不足しているとお考えの項目 (Question) がございましたらご指摘下さい
【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

4. 各症状における評価

- (ア) 全身症状
- (イ) 呼吸器症状
- (ウ) 循環器症状
- (エ) 消化器症状
- (オ) 筋・神経症状
- (カ) 皮膚症状
- (キ) 泌尿器症状

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 「実臨床での対応・考え方」と「フローの流れ」が一致している
- ③ 「irAEを見逃さない」資料である
- ④ 「irAEを以外の原因も見逃さない」資料である
- ⑤ 「対応が後手に回らない」資料である
- ⑥ 各製薬企業などの具体的な対応方法 (適正使用ガイド) のフローへ繋がりやすい

*上記の項目において不足しているとお考えの項目 (Question) がございましたらご指摘下さい
各症状 (ア)【 】 (イ)【 】 (ウ)【 】 (エ)【 】 (オ)【 】
(カ)【 】 (キ)【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

5. 問診票・レッドフラッグの評価

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 初期間診として「実臨床での対応・考え方」と「問診票」の質問事項、流れが一致している
- ③ ID～電話連絡までの記載する項目が適切である
- ④ レッドフラッグサインと経過観察の基準が適切である
- ⑤ 各症状のフローへの繋がりについて
- ⑥ 実臨床で役立つ資料

*上記の項目において不足しているとお考えの項目（Question）がございましたらご指摘下さい
【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

6. 免疫チェックポイント阻害薬で治療を受ける患者さんへの評価

- ① 簡潔にまとまっている
- ② 記載されている「主訴」の項目が適切である
- ③ レッドフラッグサインと経過観察の基準が適切である
- ④ 「各症状」と「経過観察」の項目が適切である。
- ⑤ 実臨床で役立つ資料

*上記の項目において不足しているとお考えの項目（Question）がございましたらご指摘下さい
【 】

また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

7. 各施設での検査状況

*上記の項目において不足しているとお考えの項目（Question）がございましたらご指摘下さい
また、その他にご意見等もございましたら、遠慮なくお書きください。

8. この手引書は、どの様な医療従事者に有益な手引書だと思われますか？ （重複回答可）

1. 医師 2. 薬剤師 3. 看護師 4. その他の医療従事者

全般についてお気づきの点など、御遠慮なくお書き下さい。

以上です。ご協力ありがとうございました。

なお、このアンケートの集計結果を参考に、今後改訂を行いより良い診療手引書を作成
したいと考えます。多数の先生方のご協力をお願いいたします。